

第7図 JDU形 30W 電気ハンドグラインダ

特 長

- (1) 27,000rpm の高速で研削能率がよい。
- (2) 小形で軽く使いやすい。
- (3) 特殊絶縁の強力モートルを使用。
- (4) 外箱は合成樹脂成型品で握りやすく、よごれない。
- (5) 4mm のチャック付で軸の太さ4mm以下の工具は自由に取付けられる。
- (6) 携帯に便利なスチールケース入り。

仕 様

電 源	単相交流、直流两用
電 圧	100 V
出 力	約30 W
全負荷電流	0.9 A
無負荷回転数	27,000 rpm
能 力	砥石最大径 16 mm
重 量	0.8 kg

標準付属品

軸付砥石 10個、ドレッサー、片口スパナ、チャック回し、チューブ入りグリズ、各1個、予備カーボンブラシ 2個、3心ビニールコード、スチールケース付

日立グラントホニック PFG-1001 発売

日立製作所では、このほど同社が誇る豪華ステレオ電器の第2弾として「PFG-1001」を発売した。

本機は、一昨年11月発売以来好評を博してきた「PFG-1100」の姉妹機種で、セット全体は、

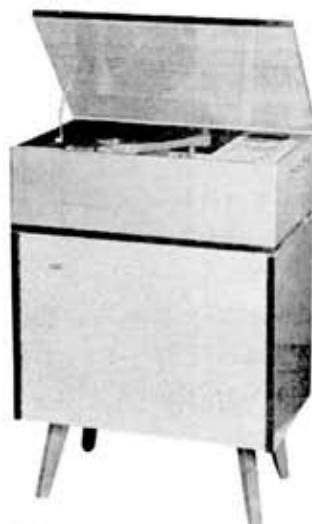
- (1) メインアンプつき サウンドシステム A-1001G
- (2) ステレオ レコードプレーヤー R-1001
- (3) 3バンドラジオチューナーつき プリアンプ AF-1001

の三つの部分から構成されており、ステレオ演奏のときは2台のサウンドシステムを併用することによって、もっともバランスのとれた立体音を楽しむことができる。

価格は次のとおりである。

シングル・シリーズ	
(3点一式)	
現金正価	58,000円
月賦正価	61,900円
ステレオ・シリーズ	
(4点一式)	
現金正価	75,000円
月賦正価	80,100円

各セットの内容は次のとおりである。



第8図 日立グラントホニック PFG-1001

(1) メインアンプつきサウンドシステム A-1001G

本機には、低音用に20センチ、高音用に16センチの二つの専用スピーカーが組込まれており、さらにアンプは高出力真空管日立“6AR5”を使ったプッシュプル増幅になっている。出力は無ひずみで5W、最大7.5Wをうることができ、家庭用はもちろん旅館、ホール、学校用などにも十分な音量と音質を備えている。

価格は

現金正価	17,000円
月賦正価	18,200円

規 格

回路方式	6AR5 プッシュプル電力増幅方式
再生周波数	50~13,000 c/s
出力	5W (無ひずみ) 7.5W (最大)
消費電力	50VA
スピーカー	低音用 日立20センチ スピーカー 高音用 日立16センチ スピーカー
大 き さ	625×670×400 (mm) 14kg

(2) ステレオレコードプレーヤー R-1001

4スピードでSPからステレオまですべてのレコードを演奏できる最新式高級プレーヤーになっている。

モーターは日立4極インダクションモーターが使われており営業用などの長時間連続演奏にも絶対安心して使用できる。特に新しい特長として、マルチ演奏もできるようになっている。このマルチ演奏は、スイッチの切換で左右二つのスピーカーボックスから同じ音を、同じ位相で再生する方法で、このため普通のモノラルレコードでもより迫力にみちた立体的なハイファイ音を楽しむことができる。

価格は

現金正価	24,500円
月賦正価	26,000円

規 格

ビッタアップ	クリスタルビッタアップ 針圧6g
	SP・LP.....ターンオーバー式
	ST (ステレオ) ...プラグイン式
モーター	4スピード4極インダクションモーター
消費電力	12VA
大 き さ	625×224×400 (mm) 10.5kg

(3) 3バンドラジオチューナーつきプリアンプ AF-1001

本機は3バンドを備えたラジオチューナーとトーンコントロール回路をもつプリアンプを一体に組込んだもので、ラジオは中波、短波、FMのすべての放送をキャッチできる。普通この3セットを組み合わせるときは、本機をレコードプレーヤーの内部に組込む構造になっており、このためアンプ単独の置き場所を考慮する必要がないので、せまい部屋でも楽に使用することができる。

価格は

現金正価	16,500円
月賦正価	17,700円

規 格

回路方式	AM-FM3バンドスーパーヘテロダイナ方式
使用真空管	5球 (他にマジックアイ1)
ダイオード	1石
受信周波数	BC (標準放送) 535~1,605 kc
	SW (短波放送) 3.8~12Mc
	FM (超短波放送) 80~90Mc
大 き さ	176×375×182 (mm) 3kg

2 バンドオールウェーブラジオ SG-534

このたび発売の日立ラジオ「SG-534」は、現在発売中の日立レコードプレーヤー（R-089 または R-070）を組み込めばそのまま豪華



第9図 2バンドオールウェーブラジオ SG-534

な電器としても楽しめる新しいタイプのホームラジオである。

外観は従来の脚付形電器と同様のコンソレットタイプで、キャビネットの上蓋をあけるとプレーヤーが格納できるようになっており、4本の脚は取外して卓上形としても使用できる便利な構造になっている。

回路方式はトランスレス2バンド5球スーパーヘテロダイン方式で、日立高出力真空管“30A5”を含む高性能MT真空管が使用されており、国内はもちろん海外の短波放送

も豊富にキャッチできる。

また本機のために特に新しく設計された大形楕円スピーカー（25センチ×12センチ）が組込まれており、さらに連動式のトーンコントロールつきで最低音部から最高音部まで広い音域にわたって美しい音を楽しむことができる。

価格は現金正価 14,000円、月賦正価 15,100円（12箇月月賦）である。

規 格	
受信周波数帯	標準放送（BC）.....535~1,605 kc 短波放送（SW）.....3.8~12 Mc
使用真空管	12 BE 6 周波数変換管 12 BA 6 中間周波増幅管 12 AV 6 検波低周波増幅兼自動音量調節管 30 A 5 出力管 35 W 4 整流管
感 度 階 級	極微電界級.....BC 60 μ V/50mW SW 80 μ V/50mW
出 力	1 W（無ひずみ） 1.5 W（最大）
使用電圧	100V 50/60 サイクル
消費電力	30 VA
スピーカ	日立 25 センチ×12 センチ 強力楕円形 P.M. スピーカー
アンテナ	長さ 3 m室内アンテナ線付属
寸 法	幅 610 mm 高さ 700 mm（脚つき） 奥行 450 mm
重 量	10 kg

.....編集後記.....

各種産業の設備拡充と家庭電化ブームによる電力需要の急激なる増加に伴い、各地に高効率・大容量の火力発電所の建設が推進されている。東北電力株式会社においては東北全域の系統火力として、175,000 kW 発電設備2ユニットよりなる仙台火力発電所の建設が計画され1号機はすでに昨年10月運転を開始し、現在2号機の据付けが終り近く運転開始の予定である。本プラントは、1号機のタービンおよび発電機その他の一部を輸入品によったが、それ以外のすべてが国産品でまかなわれたもので、温度・圧力・容量の点でわが国の記録品であり、高温・高圧・大容量火力設備製作の技術的進歩を一画期を示したものとして注目されている。

本号巻頭に東北電力株式会社仙台火力発電所前 175,000 kW 発電設備に関する報告5篇を取録、火力小特集号とした。火力発電設備の大容量化の傾向は、とどまることを知らず年々記録が更新されているが、この特集は現段階における最高の技術水準を示すものとして、意義深いものであり、今後の火力発電設備の発展に貢献するところきわめて大なるものがあると思ふ。

一家一言欄には、東北電力株式会社内ヶ崎社長より「仙台火力随想」と題し、電力開発に対する日頃の抱懐の一端をひれきされた玉稿をいただくことができた。本特集のためにご繁用中にもかかわらず特に筆をとっていただいたご好意に対し、厚くお礼申しあげる次第である。

国鉄の交流電化計画の一環として、現在常磐線で試運転中のED46形交直両用電気機関車は、交直切換えを走行中の車上から行うもので世界最初の交直両用旅客専用機関車である。「常磐線用ED46形交直両用電気機関車」は、その概要の紹介で、交直両用機設計方式の確立に貢献するところ少なからぬを信ずる。

大容量超高压送電線として、すぐれた電気的特性をもつ複導体送電線は、すでに東京電力株式会社西東京幹線、電源開発株式会社只見幹線などに実用されている。しかしながら多導体送電線の歴史が浅いために機械的な諸問題については未解決の点が多く、これが究明のため世界各国において真剣なる努力が続けられている。「複導体送電線の捻回に関する理論的考察」は、水平配列複導体送電線に捻転が発生した場合、自然に復元するようなスパーヤ配置方法についての理論的考察の詳細で、将来、主要幹線に多導体送電線が広く採用される機運にある折、まことに貴重な資料といえよう。

日立評論 第42巻 第3号

昭和35年3月20日印刷 昭和35年3月25日発行

（毎月1回25日発行）

< 禁 無 断 転 載 >

定 価 1 部 100 円（送料16円）

© 1960 by Hitachi Hyoronsha

乱丁落丁本は発行所においてお取りかえいたします。

編集兼発行人
印刷人
印刷所
発行所

長 谷 川 俊 雄
浅 野 浩
株式会社日立印刷所
日立評論社
東京都千代田区丸の内1丁目4番地
電話 千代田 (271) 0111, 0211, 0311
振替口座 東京 71824番

取 次 店

株式会社 オーム社書店
東京都千代田区神田錦町3丁目1番地
振替口座 東京20018番 電話(291)0912

広告取扱店 広 和 堂 東京都中央区銀座西八ノ三 小鍛冶ビル五階一号 電話銀座 (571) 6836 番